



ほむる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆

～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～

【今月の一冊】失敗の科学

マシュー・サイド 著 ディスカヴァー・トゥエンティワン

ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2023年8月1日 Vol. 250

発行元 有限会社プライム・コーポレーション

代表取締役 渡邊敏徳

〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地

TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

淘汰の時代

コロナ禍の状況がひと段落した現在、撤退や淘汰が始まってきました。毎日の暮らしを豊かにするために生まれた国内発の新しいフードデリバリーサービスChompy(チョンピー)は、2020年から主に東京都心の人気店が加盟しサービスを提供してきたが、デリバリー市場におけるプラットフォーム各社の競争激化などによりデリバリーサービスは、5月15日をもってサービスが終了しました。

飲食店から料理を届ける「フードデリバリー」が今難局を迎えています。外出規制による特需が消え、海外勢の日本撤退も相次ぎ、システム投資のほか、加盟店、顧客、配達員の獲得競争にコストがかかり、資本力の勝負になってきました。

スマホアプリの月間利用者数は、ウーバーイーツ、出前館ともに22年3月がピークで23年3月にはそれぞれ3割、2割程度減りました。

その他にも、2009年にスタートした動画配信サービス「GYAO!(ギャオ)」が3月でサービスを終了しました。海外大手が日本市場で浸透し、国内でも競合が増え生き残りが難しくなったことがサービス終了の要因だと思われます。

また、家電メーカーのバルミューダが携帯端末事業から撤退を発表しました。わずか2年足らずでの撤退となりました。スマホビジネスの持つスケール感が大きく、多大な資金が必要で、5億3600万円の特別損失を計上してしまいました。同じく楽天モバイルも苦しんでいます。

フードデリバリーではウーバーイーツが22年12期から黒字化、出前館は5期連続赤字……。一握りの勝者の中で多くの敗者が出ている状況です。

流行りのビジネス、儲かりそうなビジネス、売上規模が大きいビジネスには多くの競争相手がいます。とても厳しい競争相手がいることを自覚しなければなりません。

私たちは、強い勢力のあるものにつき従うより、例え小さくても独立したものの頭(かしら)となっていくことを選択することも選択肢の一つとして考えなければいけないと感じます。

目先の利益を確保することも大切ですが、淘汰の時代には継続していけることの方がもっと大切です。



AIトレンド

今、私たちの身の回りには、インターネットやソーシャルメディアの発達によりとてつもない量の情報が溢れています。

現代人が1日に受け取る情報量は、“中世(1603年～1868年)の1年分”に匹敵する程の量とされています。こんな膨大な情報社会の中で私たちは、常に最新の情報に触れ続けていないと「時代に取り残されてしまう、話題についていけなくなる、成功へのチャンスを逃してしまう」などといった恐怖を感じるようになってしまっています。

2023年のトレンドといえばやはり“AI”です。私たちの心理として、“AIトレンドに乗り遅れたくない”と思っています。まさに“取り残されることへの恐怖”がはたらきます。そして、さらに“AIが多くの人間の仕事を代替してしまうのではないか”という懸念です。これは“取って代わられることへの恐怖”です。

このように、二つの心理「取り残されることへの恐怖」と「取って代わられることへの恐怖」が今のトレンドを作り出しています。このトレンド傾向は今後もしばらく続く可能性が高いと思います。

過去にも、車、インターネット、携帯電話などは私たちの生活を豊かにしてきました。AIがどんな世界をもたらししてくれるのかとても楽しみです。



【座右の銘にしたい名言】



夢中になるだけではチャンスはつかめません。自分の能力以上のことに賭けなければ。 ロシア・ラング(米国の女性写真家、報道写真家)